

常磐公園植栽計画（素案-作成イメージ）御意見と回答について

第5回常磐公園植栽計画市民ワークショップの開催に先立ちましてお送りしました植栽計画（素案-作成イメージ）について皆様より御意見をいただきましたので、御意見とその回答についてお知らせします。

なお、2月23日までいただいた意見を取りまとめております。23日以降にいただきました御意見につきましてはワークショップ当日に配布いたします。

1. 植栽計画全体に対する御意見

| 番号 | 御意見 | 回答 |
|----|--|--|
| 1 | 資料確認させていただきました。私は特に意見等はありません。これまでのワークショップにて各人それぞれの意見・要望等は十分出されているものと思います。100年先を見据えての植栽計画ですから、そのスパンの中で節目節目で、その時点での状態を検証しつつ進めていくべきものと考えます。 | よりよい常磐公園の緑を守り育てていくためには市民協働による維持管理が必要不可欠であり、今後、その体制づくりを進めてまいります。常磐公園の緑に関する具体的な取り組みや課題に対する対応については、その体制の中で議論を深め、状況に応じて多くの市民の方の意見を聞く機会を設けてまいります。 |
| 2 | 基本的に賛成です。（木に詳しくないためわからない部分もあるため）彩溢れる空間になっていると思われまます。百年後が楽しみです。 | - |
| 3 | 原案に賛成します。 | - |
| 4 | 安全が保たれれば問題なし | 危険木に関しましては「常磐公園緑の計画」に定められた樹木診断基準に従って樹木の危険木化を監視していきます。危険木化が進行している樹木については適切な更新作業を進めます。 |

2. 植栽計画の内容に対する御意見

| 番号 | 御意見 | 回答 |
|----|--|--|
| 1 | 地表部分をどうしようとしているのか（例えば「芝を貼るなど」）、資料を開示して下さい。 | p19 4.2(2)とp20 4.3(1)に示すように、園内の落ち葉堆積場跡の土壌や、旭川市内の落ち葉や剪定枝等から生産した腐葉土を使用した土を表土として盛土し芝の種子を吹付ける案としていますが、ワークショップにて皆様の御意見をいただきたいと思えます。 |
| 2 | 通路以外も自由に散策できるとイメージしてもいいということですか（木々の間） | バリアフリーの観点から階段や園路の両端に手摺が設置されますが園路以外の往来を制限しているものではありません。自由に散策が可能です。 |
| 3 | p5「●堤防付近における・・・」中の「ニセアカシア」とp11表2中の「ハリエンジュ」を統一すべき | 「ハリエンジュ」といたします。 |
| 4 | p11 表2 ゾーン5-1内のサワラは水色でないか | 外来種ですので水色となります |
| 5 | p20 4.3(2) ヤナギ・ハルニレにナラを加えたらどうか。 | ここでは、風散布型を強く意識してヤナギ類、ハルニレを例示しました。動物散布型のミズナラ、カシワが、自然更新ゾーンに入ってくる可能性は多くないと思えますので、例示に含めず、代わりにシラカンバを入れたいと思えます。 |
| 6 | p23植栽樹種について、「ミヤマザクラ」と「カシワ」は植えられないだろうか。このあたりの風土になじむと考えられる。 | 旭川近郊では、カシワよりミズナラが多いため、ミズナラを優先して入れておりましたが、導入を検討します。ミヤマザクラは、常磐公園でもエゾヤマザクラの次に多く、植栽を検討しておりましたが、苗木が一般に流通しておりませんでしたので除外致しました。 |
| 7 | p24表13 早春の中低木に「チシマザクラ」が入っていない | 記入すべきですので修正いたします。 |
| 8 | p27ブッシュの形成について、危険木の立ち入り禁止ゾーンを中心に数か所に形成するとありますが、今後の検討をお任せします。 | 設置の詳細については、専門家の意見を聴きながら検討していきます。 |
| 9 | p28 5.3維持管理にて、間伐をみている数が少ない場合は植栽も少なく、また植栽すれば市民（子供）が背比べ出来るのも楽しいのでは | 全体のバランスを考慮しながら植栽密度を検討します。今回整備する緩傾斜化範囲については自由に往来できますので背比べ等を楽しむことができます。 |

3. その他の御意見

| 番号 | 御意見 | 回答 |
|----|---|---|
| 1 | 公園か見本林か原生林か家庭の庭の植木か多様な意見はいただけない | 公園としての植栽計画を策定し、これを基に植栽や維持管理を行います。 |
| 2 | 施工前に生息していて、施工後には生息しなくなる動植物種（公園全体のうち緩斜面化工事の対象区域のみに生息している種）の一覧を開示して下さい。 | 平成25～26年の自然環境調査で常磐公園全体のうち対象区域のみで確認された動植物は別紙のとおりです。なお、特殊な環境下において生息する種は確認されませんでした。 |
| 3 | 神楽岡公園では人工滝の造成時に10本ほどの樹木を一時移動したが、2本程度しか活着しなかったということを知りました。これは事実なのでしょうか。また、事実だとすればその状況と、今回の緩斜面化工事でそのようなことにならないための対策について回答して下さい。 | 人工滝の造成完了は平成2年と古いため、当時の詳細資料がなく、また当時の担当者に問い合わせてみましたが、御照会の移植作業そのものが確認できませんでした。今回の移植では移植する前年に根切りを行い、根回しをすることによって移植後の育成を良くする作業を行っています。（第1回ワークショップ資料5-6を参照ください） |
| 4 | 公園全体をどうしていくべきかについて市民とともに考える機会を、いつ、どのような形で設けるのか、具体的に回答して下さい。 | 公園全体の植栽についてはp27～29に示しているように、この度のワークショップで話し合いから整理した基本方針に基づいて緑の更新・維持管理を行うように考えております。また、よりよい常磐公園の緑を守り育てていくためには市民協働による維持管理が必要不可欠であり、今後、その体制づくりを進めてまいります。常磐公園に関する具体的な取り組みや課題に対する対応については、その体制の中で議論を深め、状況に応じて多くの市民の方の意見を聞く機会を設けてまいります。 |
| 5 | 今回の植栽計画案をパブリックコメントにかけるとのことですが、具体的日程を回答してください。 | 第5回市民ワークショップを踏まえてとなりますが平成27年4月に行う予定で準備を進めています。 |
| 6 | 植栽計画のワークショップ等のために、市が（株）建設技術研究所に支払う（支払った）金額を回答して下さい。 | 自然環境調査、有識者ワークショップ運営、市民ワークショップ運営、植栽設計をあわせて業務委託し、契約額は全額で12,342,191円です。 |
| 7 | 緩斜面化工事及び植栽のための準備として、伐採、養生、運搬等これまで市が支出した金額及び今後の工事予算（概算で結構です）を回答してください。 | 今年度までの緩斜面化工事のうち、伐採・移植や造成は国が施工しています。平成27年度は緩傾斜化を含む常磐公園改修に係わる事業費として9,900万円を予算案に計上しています。 |

緩傾斜化工事対象区域のみで確認された動植物一覧

【植物】

| No. | 科和名 | 種和名 | 学名 |
|-----|-------|------------|---|
| 1 | イラクサ | ミズ | <i>Pilea hamaoi</i> |
| 2 | | アオミズ | <i>Pilea pumila</i> |
| 3 | | ヤマゴボウ | <i>Phytolacca esculenta</i> |
| 4 | キンボウゲ | オダマキ | <i>Aquilegia flabellata var. flabellata</i> |
| 5 | | クサボケ | <i>Chaenomeles japonica</i> |
| 6 | | カラフトダイコンソウ | <i>Geum macrophyllum var. sachalinense</i> |
| 7 | | ヤマブキ | <i>Kerria japonica</i> |
| 8 | ウリ | アマチャヅル | <i>Gynostemma pentaphyllum</i> |
| 9 | セリ | セントウソウ | <i>Chamaele decumbens</i> |
| 10 | ヒルガオ | セイヨウヒルガオ | <i>Convolvulus arvensis</i> |
| 11 | ナス | トマト | <i>Lycopersicon esculentum</i> |
| 12 | スイカズラ | エゾニワトコ | <i>Sambucus racemosa ssp. kamschatica</i> |
| 13 | | ヤマニガナ | <i>Lactuca raddeana var. elata</i> |
| 14 | ユリ | アサツキ | <i>Allium schoenoprasum var. foliosum</i> |
| 15 | | タチギボウシ | <i>Hosta sieboldii var. rectifolia</i> |
| 16 | | オオウバユリ | <i>Lilium cordatum var. glehnii</i> |
| 17 | | ユリ科の一種(A) | <i>Liliaceae sp.(A)</i> |
| 18 | | ミヤマドジョウツナギ | <i>Glyceria alnasteretum</i> |

緩傾斜化工事対象区域のみで確認された動植物一覧

【動物】

| No. | 目和名 | 科和名 | 種和名 | 学名 |
|-----|-------|---------|----------------|--|
| 1 | クモ | サラグモ | Nippononeta属 | <i>Nippononeta</i> sp. |
| 2 | | コモリグモ | Arctosa属 | <i>Arctosa</i> sp. |
| 3 | | | アライトコモリグモ | <i>Trochosa ruricola</i> |
| 4 | | エビグモ | アサヒエビグモ | <i>Philodromus subaureolus</i> |
| 5 | | カニグモ | コカニグモ | <i>Coriarachne fulvipes</i> |
| 6 | | | チュウカカニグモ | <i>Xysticus ephippiatus</i> |
| 7 | | ハエトリグモ | カタオカハエトリ | <i>Euophrys kataokai</i> |
| 8 | ハサミムシ | ハサミムシ | ハマベハサミムシ | <i>Anisolabis (Anisolabis) maritima</i> |
| 9 | | アブラムシ | ハネナガオアブラムシ | <i>Cinara longipennis</i> |
| 10 | | | マダラカスミカメ | <i>Cyphodemidea saundersi</i> |
| 11 | | サシガメ | サシガメ科 | Reduviidae sp. |
| 12 | | | ヒゲナガカメムシ | <i>Pachygrontha autennata antennata</i> |
| 13 | | | チャモンナガカメムシ | <i>Paradieuches dissimilis</i> |
| 14 | | ホシカメムシ | フタモンホシカメムシ | <i>Pyrrhocoris sibiricus</i> |
| 15 | | ヘリカメムシ | ハリカメムシ | <i>Cletus rusticus</i> |
| 16 | | | オオツマキヘリカメムシ | <i>Hygia (Colpura) lativentris</i> |
| 17 | | | クサギカメムシ | <i>Halyomorpha halys</i> |
| 18 | | | エゾアオカメムシ | <i>Palomena angulosa</i> |
| 19 | | | ツノアオカメムシ | <i>Pentatoma japonica</i> |
| 20 | | | クロツヤヒラタゴミムシ | <i>Synuchus cycloderus</i> |
| 21 | | | オオゴモクムシ | <i>Harpalus capito</i> |
| 22 | | ハネカクシ | ニセトガリハネカクシ | <i>Isocheilus staphylinoides</i> |
| 23 | | | ヒメクロハネカクシ | <i>Ocypus brevicornis</i> |
| 24 | | | キベリマルクビハネカクシ | <i>Tachinus mimulus</i> |
| 25 | | | ヒメコガネ | <i>Anomala rufocuprea</i> |
| 26 | | テントウムシ | カワムラヒメテントウ | <i>Scymnus (Pullus) kawamurai</i> |
| 27 | | | カメノコテントウ | <i>Aiolocaria hexaspilota</i> |
| 28 | | | シロジュウシホシテントウ | <i>Anisocalvia quatuordecimguttata</i> |
| 29 | | ハムシダマシ | ハムシダマシ | <i>Lagria rufipennis</i> |
| 30 | | ゴミムシダマシ | コスナゴミムシダマシ | <i>Gonocephalum coriaceum</i> |
| 31 | | | ドロノキハムシ | <i>Chrysomela populi</i> |
| 32 | | | キバラヒメハムシ | <i>Exosoma flaviventre</i> |
| 33 | | ゾウムシ | カツオゾウムシ | <i>Lixus impressiventris</i> |
| 34 | ハチ | ミフシハバチ | ニレチュウレンジ | <i>Arge captiva</i> |
| 35 | | | リンゴチュウレンジ | <i>Arge mali</i> |
| 36 | | | エゾノカワジサハバチ | <i>Athalia yanoi</i> |
| 37 | | | Tenthredopsis属 | <i>Tenthredopsis</i> sp. |
| 38 | | コマユバチ | カモドキバチモドキ | <i>Rogas drymoniae</i> |
| 39 | | ヒメバチ | Pimpla属 | <i>Pimpla</i> sp. |
| 40 | | | ヒメキアシヒラタヒメバチ | <i>Coccygomimus disparis</i> |
| 41 | | | クロフシヒラタヒメバチ | <i>Coccygomimus pluto</i> |
| 42 | | アリ | アシナガアリ | <i>Aphaenogaster famelica</i> |
| 43 | | ベッコウバチ | クモリトゲアシベッコウ | <i>Priocnemis (Umbripennis) japonica</i> |
| 44 | | コハナバチ | アカガネコハナバチ | <i>Halictus (Seladonia) aerarius</i> |
| 45 | ハエ | ガガンボ | キイロホソガガンボ | <i>Nephrotoma virgata</i> |
| 46 | | | ハマダラクロヒメガガンボ | <i>Limonia maculata</i> |
| 47 | | カ | エゾヤブカ | <i>Aedes (Aedes) esoensis</i> |
| 48 | | | エゾウスカ | <i>Culex (Neoculex) rubensis</i> |
| 49 | | キアブモドキ | ミツボシキアブモドキ | <i>Xylomya moiwana</i> |
| 50 | | ミスアブ | ルリミスアブ | <i>Chrysochroma nipponensis</i> |
| 51 | | | キイロナミホシヒラタアブ | <i>Syrphus vitripennis</i> |
| 52 | | | アシブトハナアブ | <i>Helophilus (Helophilus) virgatus</i> |
| 53 | | | マツムラナガハナアブ | <i>Spilomyia permagna</i> |
| 54 | | ミバエ | フキハマダラミバエ | <i>Prionimera japonica</i> |
| 55 | | | タラノキハマダラミバエ | <i>Pseudhemilea longistigma</i> |
| 56 | | ハヤトビバエ | ハヤトビバエ科 | Sphaeroceridae sp. |
| 57 | | ヒメイエバエ | ヒメイエバエ | <i>Fannia canicularis</i> |
| 58 | | イエバエ | セアカクロバエ | <i>Muscina levida</i> |
| 59 | | | オオイバエ | <i>Muscina stabulans</i> |
| 60 | | キンバエ | ホホグロオビキンバエ | <i>Chrysomya pinguis</i> |
| 61 | | ニクバエ | ゲンロクニクバエ | <i>Parasarcophaga (Parasarcoph) albiceps</i> |
| 62 | | ヤドリバエ | クロツヤナガハリバエ | <i>Zophomyia tremula</i> |
| 63 | チョウ | ハマキガ | オオヤナギサザナミヒメハマキ | <i>Saliciphaga caesia</i> |
| 64 | | | クロフトメイガ | <i>Termioptycha nigrescens</i> |
| 65 | | シロチョウ | スジグロシロチョウ | <i>Pieris melete</i> |
| 66 | | シジミチョウ | ベニシジミ | <i>Lycaena phlaeas daimio</i> |
| 67 | | タテハチョウ | ミドリヒョウモン | <i>Argynnis paphia</i> |
| 68 | | | クロテントビヒメジャク | <i>Idaea foedata</i> |
| 69 | | | シロモンヤガ | <i>Xestia cni-grum</i> |
| 70 | | | シマカラスヨトウ | <i>Amphipyra pyramidea</i> |
| 71 | | | クサビヨトウ | <i>Oligia ophiogramma</i> |
| 72 | | | オオテントクロアツバ | <i>Rivula sugii</i> |
| 73 | | | ハガタキリバ | <i>Scoliopteryx libatrix</i> |